

図書館だより



7月号

2024年7月16日
安田小学校図書館

■夏休み特別貸し出し

夏休みに向けて、本の特別貸し出しを行います。期間中は毎日2さつ貸し出しをしていますので、いろいろと借りかえてみて、長いお休みにぴったりの本を見つけてください。

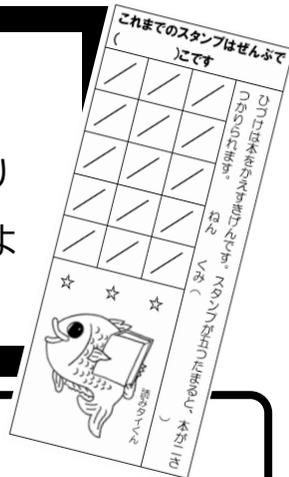
期 間：～7月20日(土)
返却期限：9月2日(月)
冊 数：2さつ



1年生が4類5類の本に触れる学習。読書のはばが広がります。

しおりは連絡ぶくろに入れましょう

なつやす ひと
夏休みあけに、しおりをなくす人がいます。しおり
れんらく い がっき
は連絡ぶくろに入れて、2学期にまたもってくるよ
うにしましょう。



保護者の皆様へ《夏休み前のお知らせ》

○1学期に借りた本を一度すべて返却することになっています。期限が切れている本がないか、連絡袋に入っているしおりをお子様と一緒にご確認ください。

○児童は夏休み用の本を2冊借りて帰りますが、保護者の皆様にも本を貸し出します。懇談にいらした際、ぜひ2階図書館へもお立ち寄りください。

貸出日：7月22日(月)～7月25日(木)
貸出時間：16:30まで
冊数：1児童2冊まで
最終返却日：9月2日(月) お子様づてで返却してください

○1・3・5年生に、こども図書館が作成したブックリストを配付します。3年生は図書館見学にも行きました。図書館に対する興味が高まっているこの時期、ご家庭でも足を運ぶことでお子様の視野を広げることができると思いますので、機会があればお出かけください。

読書感想文 課題図書

第70回青少年読書感想文全国コンクールの
課題図書の中から幾つか選んで紹介します。

『おちびさんじゃないよ』

マヤ・マイヤーズ/ぶん ヘウオン・ユン・エ
まえざわあきえ/やく イマジネーション・プラス



テンちゃんは小さな女の子。でも見た目
で判断しないで、って
思っています。ある日、
いじめっ子が小さな
マルくんにいじわるを。
テンちゃんはいじめっ
こに立ち向かいます。
そして「わたしはちび
じゃないっ!」と大きな
声で。

『聞いて聞いて!音と耳のはなし』

高津修・遠藤義人/文 長崎訓子/絵 福音館書店



音は震える空気の波。
大きな音は大きくうねり、
高い音は細かく震える。
身のまわりの音がいきい
きと立体的に聞こえるの
は、2つの耳に届く音が
少しズレてるせいなん
だっ! 音のヒミツと耳
のしくみがわかるかがく
絵本。

『海よ光れ!』

3.11被災者を励ました学校新聞

田沢五月/文 国土社



東日本大震災の避難
所となった小学校で、
被災者といっしょに寝
泊まりしていた子ども
たち。何を感じ、自分
たちに何ができるのか
を考え取り組んだこと
とは…。子どもたちの
思いをつぶさに伝え
る感動ノンフィクシ
ョン。

『ごめんねでてこい』

ささきみお/作・絵 文研出版



「ごめんね」という言
葉の重みや大切さを
考えさせてくれる1冊
です。その人のことを
しっかり思って、心から
の言葉を伝えること。
今ある日常を大切に
すること。思いやりや
家族との関わりをえが
いたお話です。

『さようならプラスチック・ストロー』

ディー・ロミート/文 ズユエ・チェン/絵
千葉茂樹/訳 光村教育図書



約5千年前に発明され
たストローは、なぜ今、
問題になっているのだ
ろう? ストローの発明
と改良の歴史、プラス
チックごみが環境や海
の生き物に与える影響
、解決策など、SDGs
を考え行動するための
ノンフィクション。

『ぼくはうそをついた』

西村すぐり/作 中島花野/絵 ポプラ社



あの人を救いたくて、
原爆で亡くなった息子
のフリをした——小学
5年生のリョウタが、自
分の住むヒロシマの街
を歩きながら、今も消
えない原爆の傷と人々
の想いについて考え
ます。平和への祈りを
こめた物語。